

国民大運動News

2022.12.19
No.1

「軍事費を削って暮らしと福祉・教育の充実を」国民大運動山形県実行委員会
山形市薬師町2-6-15 山形県労連内
TEL 023-615-2172 FAX 023-615-2173
mail yamagataroren@yahoo.co.jp

保険証廃止 納得できない！ マイナカードに不満相次ぐ

国民大運動山形県実行委員会は11月4日、「強制的にマイナンバーカードに一本化、保険証廃止に納得できますか？」のシール投票と反対署名行動に取り組みました。肌寒い中、国民大運動の各構成団体から14人が参加しました。

実行委員会の参加者は、法律上、マイナカードの取得は任意であると指摘したうえ、健康保険証などを強制的にマイナカードにひもづけることは許されないと強調し、通行人に署名やシール投票を呼びかけました。

最近病院で受診したときの様子を紹介しながら署名に応じた40代女性は、「受付でマイナカードを差し出したお年寄りがパスワードを覚えていなくて困っていた。無理やりすすめても、医療機関も患者も混乱するので保険証を廃止してマイナカードへの一本化を強制することは反対です」と語っていました。

マイナカード取得でポイントをつけてもらったがスマホの取り扱いがわからないという70代女性は「面倒でむずかしい」と不満な様子を示しながら、「落としても大変だし。別に持っていないくとも不便でない」と話していました。

30分間の行動で、17筆の署名が集まりました。また、シール投票では19人が参加し、「納得できる」が1票、「納得できない」が14票、「わからない」4票となり、多数の人が保険証廃止・マイナカード一本化の強制を認めていないことが明らかとなりました。

行動には、「しんぶん赤旗」と「さくらんぼテレビ」が取材し、同テレビでは夕方のニュースで報道されました。

実行委員会では、今後もこうした街頭での行動を続ける他、学習会の開催なども検討しています。



シール投票を呼びかける県労連の
荻原圭子議長

軍事費を削って暮らしと福祉・教育の充実を！